様式４

令和５年度 実践事例報告書

学校番号	情 01	学校名	日本文理大学附属高等学校	担当教員名	安東　慎一郎
ねらい	☐ 知財の重要性　☐ 法制度・出願　☑ 課題解決（創造性開発・課題研究・商品開発等） ☐ 地域との連携活動　☑人材育成（学習意欲向上、意識変化等）　☐学校組織・運営体制				
関連法	☑ 特許・実用　☐ 意匠　☐ 商標　☐ その他（　　）				
実施方法	☐ 全校で実施　☑ 教科・学科で実施　☐ 特別活動で実施 ☐ その他（　　）				

	年間の取組内容	実施月	該当する要素の番号	知財学習の要素		
①	県発明協会、弁理士会出前授業	5-8	6,7,8,9,11,12,13	創造	☑	(1)創造性を鍛える
②	知財教材、知財情報検索学習	5-12	2,4,5,10,		☑	(2)情報を利用する能力
③	知的創造、コンテスト応募	5-12	1,3,		☑	(3)発想・技術を表現する能力
④					☑	(4)観察力を鍛える
⑤					☑	(5)技術を体系的に把握する能力
⑥				保護	☑	(6)商品や社会とのつながりの理解
⑦					☑	(7)保護・尊重する意識
⑧					☑	(8)技術等と権利の対応関係を把握する能力
⑨					☑	(9)手続の理解
⑩				活用	☑	(10)権利を活用する能力
⑪					☑	(11)産業や経済との関係性の理解
⑫				知識	☑	(12)制度の学習
⑬					☑	(13)専門家、資格制度の関する知識

取組目標の達成見込	やや不十分（5 割以上）	その理由 具体的な数値を用いて記載をお願いします	コンテスト応募／入選件数が少なかった
取組の状況 具体的な数値を用いて記載をお願いします	項目としては実施できたが、成果が不十分であった。		

年間の取組のうち、**最も重視した取組又は成果のあった取組等**について

取組番号	1
成果内容	県発明協会、弁理士会出前授業
生徒･学生に見られた変化	知的財産を知る、知的創造に取り組む意識向上
その根拠	生徒作文
今後の課題	制度理解から知的創造までつなげる
課題への対応	知的創造に必要な知識、意識の指導

本資料内の写真、イラスト、引用文献等の承諾が必要なものにつきましては、権利者の承諾を得ていることを申し添えます。

20230524 県発明協会出前授業

20230620 知財弁理士オンライン

20230915 発明体験オンライン

20230420 ドローンアイデア入賞

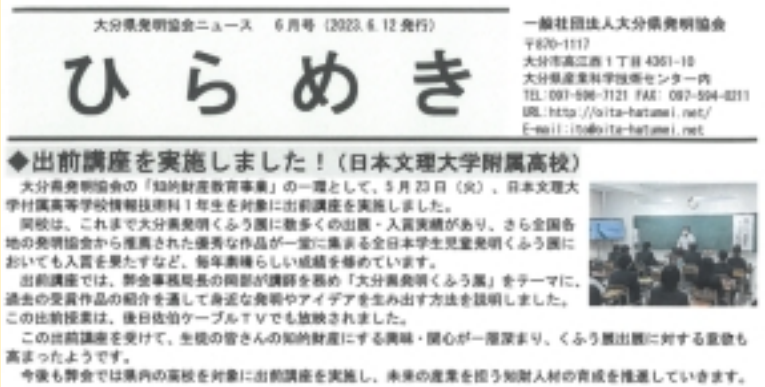
20230503 全国発明くふう展入選

20230420 発明クラブ紹介

20230906 特許検索検定

20231020 発明くふう展入選

20231109 ドローンアイデア入選



大分県発明協会ニュース　6月号（2023.6.12発行）

ひらめき

一般社団法人大分県発明協会
〒870-1117
大分市高江西1丁目4361-10
大分県産業科学技術センター内
TEL：097-596-7121 FAX：097-594-0211
URL：http://oita-hatumei.net/
E-mail：info@oita-hatumei.net

◆出前講座を実施しました！（日本文理大学附属高校）

大分県発明協会の「知的財産教育事業」の一環として、5月23日（火）、日本文理大学付属高等学校情報技術科1年生を対象に出前講座を実施しました。

同校は、これまで大分県発明くふう展に数多くの出展・入賞実績があり、さらに全国各地の発明協会から推薦された優秀な作品が一堂に集まる全日本学生児童発明くふう展においても入賞を果たすなど、毎年素晴らしい成績を修めています。

出前講座では、弊会事務局長の岡部が講師を務め「大分県発明くふう展」をテーマに、過去の受賞作品の紹介を通して身近な発明やアイデアを生み出す方法を説明しました。この出前授業は、後日佐伯ケーブルTVでも放映されました。

この出前講座を受けて、生徒の皆さんの知的財産にする興味・関心が一層深まり、くふう展出展に対する意欲も高まったようです。

今後も弊会では県内の高校を対象に出前講座を実施し、未来の産業を担う知財人材の育成を推進していきます。

1515 田原悠豊
今日、いろんな発明品を見てみて参考になったのもあれば、どーやったらそんなのが思いつくのか分からないほどの凄い発明品などがありとても面白かったです。ひとつの課題に対して、いろんな視点から見ることが大事だと思いました。

1516 戸高遼斗
全国大会の受賞作品を見てとてもレベルが高いと思いました。しかも、自分よりも下の学年の人がレベルの高い作品を作っていたのでとても驚きました。自分もどのようなものがあれば、生活を楽にできるのかを常日頃考えようと思いました。

1521 井上涼音
新規性のあるものを発明するのは難しいけど、何かひと工夫すれば良いということを学んで、発明展に向けて日頃から考えて過ごそうと思いました。

1532 高橋夢愛
いろんな発明を見ると興味が湧いた。小さな工夫と創造が人助けや社会貢献に繋がるのはすごいなと思った。沢山の視点から考えて作られた作品を見て、自分も作ってみたいと思た。

1535 平山皆美
色々な発明を聞いて　私生活に役立つようなアイデアがたくさんあるんだな、と思いました。私も生活をよりよくする発明をしたいと思いました。

県発明協会や弁理士出前授業、発明体験オンライン等を受けた生徒の感想を見ると知財制度を知り、パテントコンテストや発明くふう展に向けて意欲的な内容が多い。しかし、実際の知的創造等ではなかなかアイデアを出すことが出来ず、実際のコンテスト応募、入選は少なかった。